

## 湘南藤沢学会 「研究助成基金」 成果報告書

### 活動名称

---

貧困層の生活向上プロジェクト創業直後期課題の調査

ーフィリピンカミギン島労働省のDILEEP政策採択プロジェクトを事例にー

### 活動の目的

---

当該活動の目的は、約三週間のフィールドワーク調査を通してフィリピンミンダナオ島カミギン州の貧困層世帯(貧困率は41.0%<sup>1</sup>)が営む生活向上プロジェクト(創業直後、立ち上げ後二年以内の期間)の課題についてインタビューを行い、集計結果より示唆を見出し、生活向上プロジェクトなど開発政策の改善に寄与することである。

途上国の貧困層に対する持続的な貧困削減モデルと注目される生活向上プロジェクトの多くが、民間企業の起業と同様に創業まもなくして頓挫・機能不全に陥っている。したがって、創業直後期に直面する主要な課題を究明し、事前に課題などを予知することで、開発事業の生存確率向上に貢献することが国際的な課題として提起されている。

しかしながら、調査実施の費用(交通費、人件費、時間)など、実務的な困難や、組織維持や権力など社会科学的な影響等により、同課題についての研究は十分であるとは言い難い状況にある。今回取り扱うテーマにおいては、公開されている先行研究が皆無の状況である。

したがって、同調査が収集する生活向上プロジェクト創業直後期のデータは、開発政策の改善に寄与され得るものとして、有益かつ必要とされているものと言える。

### 活動の概要

---

活動期間：2016年8月22日(月)～2016年9月12日(月)

活動場所：フィリピン共和国カミギン州

実施者：学生1名(本人)

協力者：カミギン州知事及び管轄部署の職員方、カミギン州労働省・文科省教育局職員方、PRRM(Philippine Rural Reconstruction Movement)職員

指導教員：ティースマイヤ・リン環境情報学部教授

### 活動の内容

---

フィールドワークでは、比政府労働省カミギン局がDILEEP政策(DOLE Integrated Livelihood and Emergency Employment Program)で採択・資金助成している生活向上プロジェクトを営む貧困層受益者を中心的な調査対象とし、三週間に及んでインタビュー調査を実施し、生活向上プロジェクトの定性

---

<sup>1</sup> National Statistical Coordination Board 2012 フィリピン政府統計局

データ(創業直後期間に直面した課題とその解決方法)と定量データ(売上、費用、収益性等)を収集した。収集したデータを基礎調査として、生活向上プロジェクトの現状と創業直後期の主要な課題について分析を行っている。

インタビュー調査を9つのプロジェクトで実施し、26名の受益者よりデータを収集した。9つのプロジェクトとは、ティラピア(魚)の養殖業、砂利/小石の採集、ココナッツ果汁の食品加工業、お菓子の食品加工業、イカ焼きの食品加工業、豚の畜産業、鶏の畜産業、トビウオを主とした漁業、そして米や飼料の小売業である。カミギン州の主産業が農業と漁業であるため、研究対象の大半が一次産業である。

## 活動の成果

成果として、全9つのプロジェクトの創業直後期の課題とその解決方法及び最新の財務データ(売上高、総費用、純利益等)を収集することができた。加えて、全26名の受益者のベースラインデータ(年齢、世帯人数、教育水準、収入等)を収集した。

現在、データを分析しているが、9つのプロジェクトが創業直後期に直面した課題の共通項として、「環境面のリスク」、「メンバーの士気管理」、「衛生管理」、「資本金不足」等が見受けられた。また、収益貢献主因の共通項としては、「高い需要量」、「幅広い顧客層」が顕著であった。さらに、現地 NGO である PRRM(Philippine Rural Reconstruction Movement)が協力しているプロジェクトは、そうでないプロジェクトに比べて、平均売上高純利益率が8.39%高い結果が判明した。PRRM 協力プロジェクトの売上高純利益率の平均が18.86%であったが、非 PRRM 協力プロジェクトの平均は10.47%であった。

## 今後の課題と展望

本研究を基礎研究として、主に下記の点において更なる研究を期待する。

サンプル数の増加、非 DILEEP 政策採択プロジェクトとの比較分析、受益者の生活水準の変化、財務諸表に記載されない資産や収支の調査、プロジェクトの顧客や仲買人のインタビューなどが挙げられる。

成果の活用として、分析で得られた洞察はカミギン州地方自治体等に情報提供し、自治体による貧困削減プログラムの改善に貢献する。

## 謝辞

本活動の実施に際し、資金面でのご支援をいただいた湘南藤沢学会様、またご協力いただきました全ての皆様に心より御礼申し上げます。



トビウオ事業の受益者インタビューの様子



お菓子事業の商品生産の様子